

新町家のすすめ 建築実例 物件情報シート

建物名：現代工法による新築京町家住宅

建物写真



建物概要

行政区：京都市伏見区

建築年：平成31年

敷地面積：57.66㎡

建築面積：33.6㎡

延べ面積：66.29㎡

構造：木造

階数：2階建て

本体価格：(任意)

建築主：(任意)

設計者：

施工者：株式会社小林工務店

設計コンセプト・ポイント

間口が4.5m、東西隣家が隣接している敷地条件の中、さらに、壁量を多く必要とする構造や高気密高断熱性能も取り込むことを考慮したうえで、屋内をいかに有効的に広々と、かつ快適に過ごして頂けるかを念頭に、間取りや開口の位置等を検討致しました。

具体的には、南北に通る抜ける風の流れに沿って開口部を検討したり、東側にハイサイドライトを設け、少しでも水平方向への広がりを感じられるよう工夫致しました。家事動線の途中には裏庭への出入りを設け、浴室からそのお庭を眺められるよう、町家の特性‘内なる豊かさ’を取り込みました。

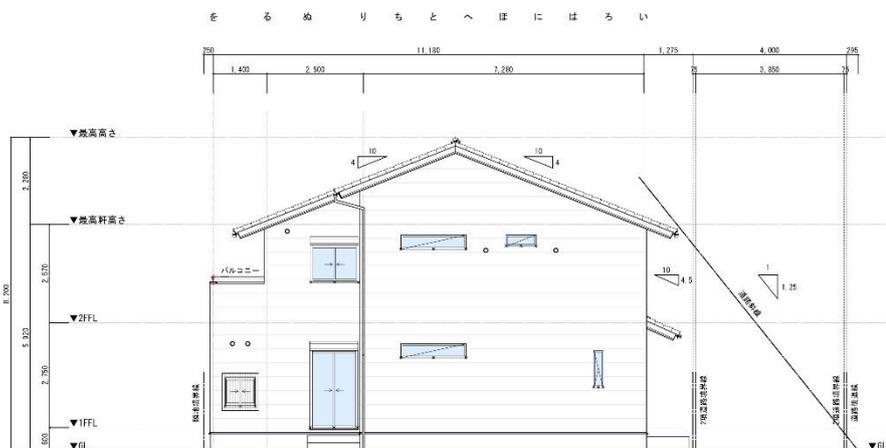
また外装は日本瓦を葺き、焼杉+漆喰風のファサードを意識し、内装は、タモの色塗目を基調に、全体的に明るく優しい色合いに検討致しました。

コンパクトながら、お施主様ご夫婦の住処として、機能的な動線と、お庭も含め丁度良いスケール感のプランになっております。

※掲載されている建築実例は、新町家パートナー事業者が考える京町家の知恵を取り入れた住まいの事例です。

該当する指針の欄に, 具体的な内容を記入してください(取り入れていない指針の欄は空白で可)

指針 1 まちに暮らす ～隣地の状況を踏まえて建物配置を計画する～



東側立面図 1/100



指針 1-2 開口部の位置などに配慮しています。

- ・隣家が近いため、西面には一切窓を設けていません。
- ・東面で隣地に近い部分は採光のためにハイサイドライトとすることで、視線が合わないようにしました。
- ・浴室・和室の窓には目隠しとして木格子を設けています。

※掲載されている建築事例は、新町家パートナー事業者が考える京町家の知恵を取り入れた住まいの事例です。

指針 2 場所になじむ ～地域特性や歴史を踏まえて設計する～



指針 2-2 町並みのスケール感や昔ながらの地割に配慮しています。

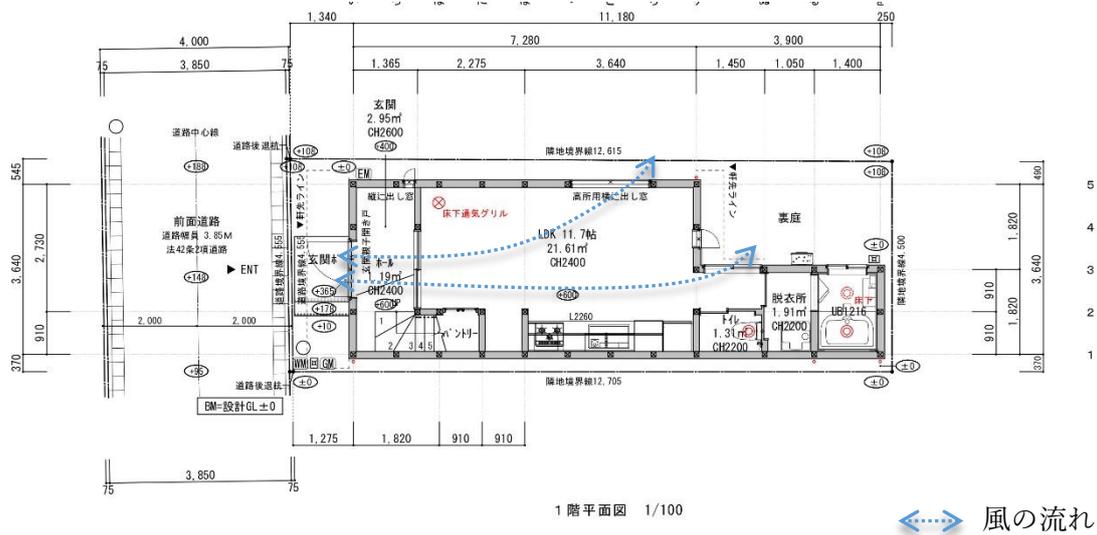
・間口 4.5m のコンパクトな土地に見合ったプランニングとし、南面には裏庭を設けています。

・また、通り庇を設け、1階と2階の壁面を適切に分節することで、圧迫感を低減し、建物全体のバランスを整えています。

指針 2-3 設備機器も町並みに調和させています。

・設備機器が表から見えないう、位置に配慮しました。

指針 3 季節や自然を楽しむ ～季節や自然を楽しめるよう工夫する～



指針 3-1,3-3 風や光が感じられる庭を設けています。

・玄関と奥の庭を一直線に配置することで、風の通り道を確保するよう配慮しています。

指針 3-3 建物内の風通しや日射をコントロールしています。

・外皮計算・気密検査を行い、高気密高断熱の住宅とし、日照等をコントロールしています。

指針 4 大切に使う ～大切に長く使い続けられるよう工夫する～

指針 4-2,4-3 経年変化を楽しめる工夫をしています。

- ・床材には無垢のタモ材や杉材を使用しています。



指針5 和の技を感じる ～伝統技術・技能をいかす～



指針 5-1 外観に伝統技術・技能をいかしています。

- ・外観に京町家の趣を取り入れ、屋根は日本瓦葺きとしています。
- ・玄関ポーチ、土間には伝統的な洗出し仕上げを採用しています。
- ・浴室窓の目隠しと2階和室窓の目隠しのために、木格子を採用しています。

指針 5-2 内部に伝統技術・技能をいかしています。

- ・和室には障子を採用しています。
- ・和室にはいぐさの畳を使用しています。